

標題 平田柿部会出荷総会で西条柿出荷ピーク予測の産地情報を提供

(ダイジェスト)

9月21日にJAしまね出雲地区本部平田柿部会の出荷総会が開催され、本年産の収穫、出荷管理の徹底について、生産者と市場関係者等の情報共有が図られました。当普及部からは、市場が高い関心を寄せている産地情報である「西条柿出荷ピーク予測」を提供しました。

9月21日にJAしまね出雲地区本部平田柿部会は県外4市場、県内3市場を招き出荷総会を開催しました。部会の生産対策部からは現在の生育状況、加工対策部からは干し柿の加工製造計画、販売対策部からは西条柿や富有柿の出荷量及び販売額等の販売計画が報告された後、各市場からは今シーズンの平田の柿の販売等に関する要望と期待が述べられ、最後に柿部会青年部から「平田の美味しい柿を全国に届けよう」と決意表明がありました。

平田柿部会では平成9年から当普及部監修の上、産地情報として、全部会員が報告する4月の結果母枝数、8月の着果量から出荷量予測を提供していますが、その精度は、表年、裏年あるなか、ほとんどの年で10%以内の誤差に留まっています。

また、当普及部からは平成20年以降、早い年と遅い年で4週間も違う出荷ピークを技術普及部と気象データを元に予測し関係機関に提供し、市場からは一定の評価を得ています。

高単価を維持するには品質の高い果実を生産するのは当然ですが、それと同等に重要なのが正確な出荷量、出荷ピークといった産地情報です。市場からの要望のなかでも、平田の柿の有利販売のために正確な産地情報を提供して欲しい旨の発言が多数ありました。

当普及部は平田柿部会やJAと連携し、栽培管理面だけではなく、生産に関わる基礎データの収集や分析に基づく正確な産地データを市場等に提供し、部会の長年の悲願である販売額3億円突破を実現できるよう支援していきます。



柿部会青年部による決意表明